

感染症情報 FAX

2020年10月12日

★先程送信した内容について、一部誤りがありましたので、再送させていただきます。こちらの方に差替えをお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症 検体と検査種別

現在、新型コロナウイルス感染症の迅速かつ安全に診断できる方法のひとつとして、「唾液」や「鼻腔ぬぐい液」による検査も可能となっています。患者の症状や経時的な変化に応じた検体採取及び検査方法の検討をお願いいたします。

■新型コロナウイルス感染症 検体の種類と採取

- **鼻咽頭ぬぐい液** （鼻腔孔から鼻腔底に沿ってスワブを挿入し、鼻汁を浸透させる。）
 - 最も標準的で信頼性の高い検体。
 - △ 感染予防策が必要
- **鼻腔ぬぐい液** （鼻孔から2cm程度スワブを挿入し、5回程度回転させ十分湿らせる。）
 - 自己採取の場合、感染予防の面から有用な検体
 - △ 検出感度がやや低い △ 無症状患者は非適用
- **唾 液** （飲食や歯磨き後、30分程度あけてから自己採取。1～2cc）
 - 採取手技に左右されず、感染リスクの低い検体 ○ 検出感度は鼻咽頭と同程度
 - △ 自己採取のため容器外側が汚染の可能性あり △ 陰性確認には非適用
- **喀 痰** （個室での採痰が望ましい。）
 - 呼吸器症状を有し、疾病が進行している患者では、最も感度の高い検体
 - △ 喀出時には飛沫が発生。感染予防策が必要 △ 無症状や軽症者は採取できない

■発症経過から見た検体及び検査方法

COVID-19	検体種別	無症状	発症日	2日～9日	10日以降
PCR	鼻咽頭	○	○	○	○
	鼻腔	×	○	○	○
	唾液	○	○	○	×
抗原 (定性)	鼻咽頭	×	×	○	×
	鼻腔	×	×	○	×
	唾液	×	×	×	×

詳しくは「COVID-19 病原体検査の指針第1版」参照

■インフルエンザ抗原キット「鼻かみ液」検体による検体採取

「鼻かみ液」検体はインフルエンザの自己採取が可能な検体として、注目されています。しかし、患者の症状（鼻汁が出ない）等今後、検討が必要な要素もあります。

- 専用の検体採取用紙（鼻かみ紙）に患者さんに鼻をかんでもらい、キット付属のスワブで鼻汁を採取し、通常のキット操作方法で判定を行います。

※検体採取用紙（鼻かみ紙）のサンプルを和歌山市保健所で準備しています。

活用を検討される医療機関様は申し出ください。